

## 地球温暖化対策と 森林保全について



高橋隆子

**問** 地球温暖化により世界で気象災害が深刻化し温室効果ガス排出削減が急がれる。市内全小中学校にエアコンが設置され、電気による排出量と使用料金の倍増も予測される。公共施設での再生可能エネルギーの導入・エネルギーシフトへの取り組みは。

**答** 公共施設を建設・改修する際には再生可能エネルギー設備を設置。中学校等での太陽光発電と蓄電池による電気代削減や災害時への対応も検討中。

**問** 森林にはCO2吸収と水を蓄える機能がある。昨年の台風19号による被害を教訓に『森里川海』のつながりを広域で連携し森林を保全すべきでは。

**答** 柿沢川、狩野川流域の市町や国土交通省と連携して治山治水に取り組む。

**問** 世界遺産や国宝を多く守る市として『気候非常事態宣言』を表明すべき。

**答** 台風19号を契機に地球温暖化対策を大々的に訴えるべく宣言する予定。

新しい時代を生きる子どもたちの  
学びに十分な支援を

**問** 令和2年度から小学校で始まる新学習指導要領で、道徳・外国語・プログラミング教育等が導入される。ICT活用、GIGAスクール構想への対応等、教育現場での負担が危惧されるが。

**答** 教育の質を担保しつつ「変える・減らす・なくす」の視点で業務改善を進めていく。

**問** 音楽発表会、運動会、遠足、観察、実験等《生きた体験学習》が縮小されていく現状だが、本市の豊かな自然を活かした独自の教育を。

**答** 市教育大綱のもと地域の特色と工夫ある教育活動を各校長に任せている。  
**問** 臨時休校の今こそ、地域社会とのコミュニケーションスクールが機能すべき。  
**答** 全小学校への拡充が遅れている。



## 北条早雲没後 500年祭の成果と 今後の方向性は



三好陽子

**問** 平成30年10月、市民有志による北条早雲没後500年記念事業実行委員会が立ち上げられ、令和元年11月1、2日に没後500年祭が行われた。市から250万円の補助金が支出されたが、参加人数など成果は。

**答** 早雲歴史ウォーク、映画、語りの会、甲冑隊、稚児行列、法要など、2日間で延べ1320人が参加。63社、個人40人から協賛金を頂き、地元への理解が得られ、賑わいを見せた。



北条早雲没後500年祭

**問** 早雲について後世に語り継ぐ必要はあるが、イベントや祭りではなく、市民などを知る機会を作ることが大事。今後、どのように取り組むのか。

**答** シンポジウム、講演会の開催、葦山城跡の国史跡指定を目指した準備、発掘調査など継続的に市民へ公開していく。さらに葦山高等学校の歴史研究などにも協力していく。

**地域おこし協力隊の活動を  
市民に分かりやすく**

**問** 人口減少や高齢化の地方自治体へ都市住民が地域おこし協力隊(年間報酬200万円、活動費上限200万円支給)として従事し、定住を図る取り組みを総務省が支援している。現在4人いるが、定住者はいるのか。

**答** 今年度に対象となる隊員は1人で、企業支援補助金を活用して起業の準備をしている。ほかの2人も定住希望で起業の検討、準備をしている。

**問** 市民と交流の場を設け、隊員の定住促進、活動の見える化をするべき。

**答** 隊員自ら考え、自負を持ち行動していると拝察している。

**問** 地域おこし協力隊員の採用は継続するのかが。

**答** 隊員の活動がなじむ環境を探しながら、採用を検討していく。

## 台風19号被害から 農業への水害対策としての 河川整備を

Q &amp; A



田中正男

**問** 台風19号で韮山古川は満水に近い状態まで増水し、その影響で古川の支川である皆沢川も増水し、農業用排水路から逆流し付近の農地に流れ込んだため、周辺のトマトハウス団地が浸水被害を受けた。今後の対策として、皆沢川からの逆流防止弁設置が求められているが整備できないか。

**答** 皆沢川周辺のミニトマトハウスを考えると、逆流防止弁について設置を検討していく必要があると考えます。予算については協議になりますので検討を進めさせていただきます。

**問** 奈古谷毘沙門川も台風で増水し越水により周辺農地に土砂が流入し、水田やいちごハウスが被害を受けた。今後の対策として、毘沙門川の堆積した土砂の浚渫と農業用排水路の浚渫が必要ではないか。

**答** 毘沙門川の堆積している箇所は浚渫は工事発注をしてあり、農業用排水路や取水口などに堆積した土砂の撤去も出水期までには完了する予定です。

## 旧韮山庁舎跡地利用について

**問** 議会全員協議会でJA伊豆の国に売却の協議を開始したとの報告があり、1月の市広報に内容が掲載されたが、旧韮山庁舎の跡地利用の進め方としては、まず地元や市民からの意見を聞くことや、跡地利用者を公募するなど、市民の財産として公平・公正に行うことが必要ではなかったのか。

**答** 地元4区の内、2区に説明会を行い、2区は農協との協議開始に異議はなく説明会は不要とのこと。また、広報1月号と市ホームページに掲載し意見公募を行っています。本来は不特定多数の者の参加を求め、競争原理に基づいて契約すべきですが、地方公共団体の利益につながると判断できる場合は、随意契約が可能とされています。



解体後 JA に売却予定の旧韮山庁舎

## 韮山中央農道の 課題解決について

Q &amp; A



二藤武司

**問** 起点(函南町側へ)接道部は、狭隘でクランク部分も多く、鋭角なため、シフト変更も余儀なく、本市に乗り入れようとする大型車両、観光バス等があった場合、それらを利用すると渋滞を引き起こす可能性が高いと考えます。解消策をお聞かせください。

**答** 東駿河湾環状道路の開通に伴い、大場函南インターチェンジより伊豆の国市に入る車両が増加しているため、韮山中央農道と函南町道へのアクセスは非常に重要であると認識しております。

函南町側につきましては、函南町に確認しましたところ、バイパス道路の設計は終了し、現在地元との調整中であり、調整が終了次第、工事着手の予定であるとのことであります。道路構造は、車道の幅は2・75メートルの二車線、それに幅員、路肩があり、幅員は約8・8メートルになると聞いております。

**問** 韮山交番前の交差点、韮2の11号線の渋滞が予想されますが解決策として、

て、韮2の11号線に右折レーンを設置する計画の考えは。

**答** 韮2の11号線(通称：日通道路)は、車道の幅員6・7メートル、その北側に緑地帯等が3メートルあります。今回の水路の工事で、交差点付近の水路改修も行われており、周辺の状況が変わったことを踏まえ、右折レーンの設置は構造的には可能と考えております。実際、交差点西側の跨線橋のほうから東に向かって小学校側に右折する車が非常に多く、危険であると考えます。今後、伊豆中央道の料金所の廃止等で無料化になることによって、また交通量の増加等も予想されますので、交通事情等踏まえていながら検討していきます。必要があるというふうに認識しております。



韮山交番前の交差点

## 伊豆の国市地域防災計画について



森下 茂

**問** 要配慮者支援体制について。市は、指定避難所で生活することが困難な要配慮者を受け入れる福祉避難所として、6箇所が指定されていますが、市内の要配慮者数と、その人数に対して6施設で対応可能か。また、医療的配慮が必要な方への支援体制は。

**答** 市内における要配慮者のうち、施設入所者や支援を希望しない人を除くと、支援を必要な人数は585人。これに対して受け入れ可能人数は6施設で約110人であり、6施設での対応は不可能である。指定避難所の中にも、要配慮者スペースの確保や、旅館、ホテルと協定を締結し提供していただく取組を進め、さらに6施設以外の施設の福祉避難所の指定を検討する。

**問** 医療的配慮が必要な方への体制は非常に難しいとのことだが、医療が必要な方はどう対応すれば良いのか。

**答** 医療機関等と連携を図りながら対応していきたいが、まず、医療の必要な方は、個別に自助ということ体制を

整えていただきたい。

**問** 伊豆の国市防災マップについて。防災マップは災害時の要配慮者や市民の指針となるものであり、また地域自主防災組織構築にも重要です。市民に防災マップを活用していただくための周知が必要と考えますが。

**答** ホームページへの掲載、活用CDの配布。また、出前講座を中心に様々な機会でも活用方法を説明している。今後市民に活用してもらおうよう、あらゆる機会でも周知する。

**問** 行政で手が回らない防災の知識や危機管理意識の啓発を市民に勧めるためにも防災指導員や防災リーダーの任命、委嘱を進めていただきたい。災害で犠牲者を一人も出さない官民協働に対して市の考えは。

**答** 大災害発生直後は、行政だけでは限界があり、自主防災会や市民の協力が重要。市職員合同の防災訓練や避難所運営訓練を通じ、市民及び自主防災会に周知する。



皆さん一人一人の協力が必要です！！

## 高齢者温泉交流館(旧めおと湯の館)の存続について



菅原 恵子

**問** 市再配置計画において教育や福祉は慎重に対応すべき分野と思うが、基本的な考え方は。

**答** 人口減少、財政状況、公共施設老朽化の解決に向けてのものであり、教育や福祉の公共施設にも当てはまる。

**問** 交流館は年間約5万人の利用者がいるが、どうとらえているか。

**答** 少し稼働率が悪い。

**問** 大規模改修とはどのようなものか。

**答** 空調・ボイラーなどである。

**問** 市内3か所の高齢者温泉施設は健康長寿を目指す市としても重要だが、全員協議会で「高齢者温泉交流館」の一般開放を廃止する説明がされた。今後の存続についてはどうするのか。

**答** 令和3年度からアクションプランを作成し、統合を検討することになっている。市民へは広報3月号の通り。

**問** 全員協議会での説明理由に会計年度任用職員制度の影響があるのか。

**答** 全員協議会で議員に説明した内容であるので次の全員協議会で説明する。

**問** サウナもあるため一般利用は観光客にも人気がある。4月以降についてはどのような考えか。

**答** 市の責任において対応する。

**問** 「葦山温泉館」の今後については。

**答** 民間移管か指定管理か、年度内には市の答申を出したい。



高齢者温泉交流館

### 長岡体育館の整備について

**問** 長岡体育館のトイレの臭いについて、原因と現在の対応は。

**答** 排水溝からの臭いはあり、配管を高圧洗浄するなど対応をしている。

**問** モンゴル国選手を招いての「少年柔道錬成大会」など大規模試合時には、移動式トイレやトイレトレーラーなどの借り入れが必要ではないか。

**答** 特に考えてはいない。臭ったときに専門業者を入れて解決していく。